

2020 年 1 月 22 日

関係者各位

一般社団法人日本ラクロス協会
日本ラクロス協会女子競技ルール委員会

2020 年度 JLA 女子競技ルールについて

日本ラクロス協会会員各位

2018 年 7 月に実施された World Lacrosse（以下：WL）総会にて、女子競技における競技人数の変更を含む大幅なルール変更が承認され、JLA においても 2019 年度よりこれに準拠することを軸としながら、安全性ならびに競技力向上を担保するべく独自の補足事項等を付して JLA 女子競技ルールとして施行しました。

この度、2019 年 8 月に実施された WL 総会において、昨年引き続きルール改定が承認されたため、関係者（強化、NPC、審判、日本ラクロスアカデミー、ルール委員会）での協議の上、2020 年度についてもルール改定を行うことを JLA 理事会に提言し、2020 年 1 月 18 日開催の JLA 定例理事会で承認を受けましたので、お知らせいたします。

今回の変更の概略ならびにルールブック公開のスケジュール（予定）を翌ページ以降に記載しますので、協会会員の皆様におかれましては以降の活動の参考にいただければ幸いです。

なお、本変更は 2020 年 4 月 1 日より適応となります。

また、本書により公開される情報は全て「予定」されているものであり、今後 WL より発刊されるルールブックの内容や安全性を考慮しての変更があることを申し添えます。

ルールに関するお問い合わせはルール委員会（rule@jpnlacrosse.org）までご連絡をお願いいたします。

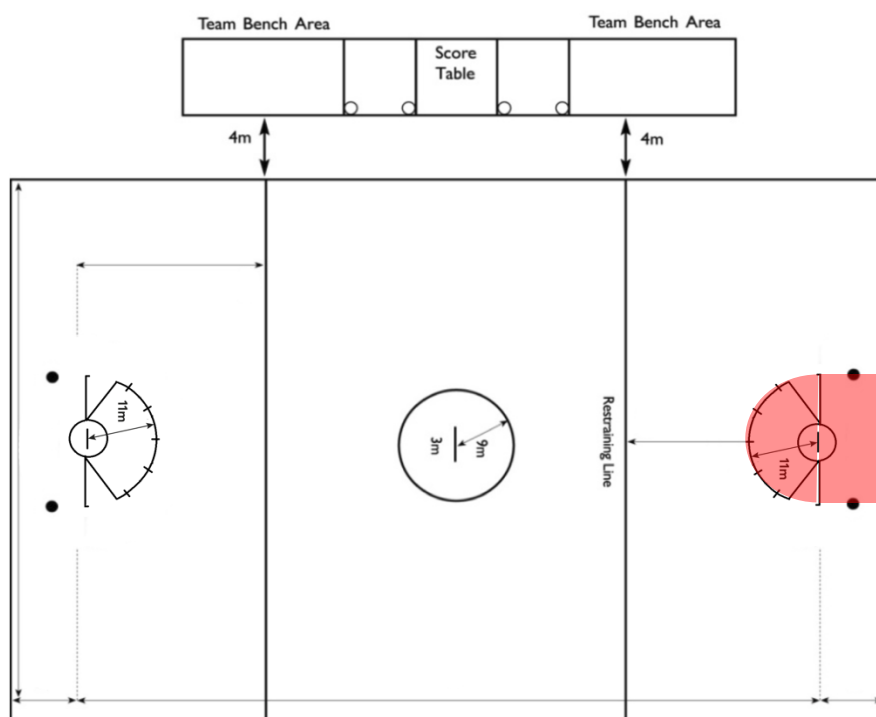
日本ラクロス協会女子競技ルール委員会

【変更点について（おしらせ）】※このほかにも 2019 年ルールからの変更点があります。

変更点①：ゴール前 15m 半円の削除

下図のようにフィールドが修正されます。これにより、

- 1) アドバンテージフラッグエリアの形状も赤く塗られた範囲へと変更（縮小）されます。
- 2) フリースペーストゥゴールの侵害が適応される範囲が 11m 扇内のみとなります。
- 3) ハッシュの本数が従来の本数より削減され、5 本となります。



変更点②：スタンドルールの全面廃止

アドバンテージフラッグエリアを除くエリアで、ホイッスルにより、試合の進行が止められた場合であっても、スタンドする必要がなくなります。

これに伴って、セルフスタートの要件も緩和されます。

変更点③：セルフスタート適用の拡大

アウトオブバウンズ（場外）による再開時にもセルフスタートが適用されます。

ボール保持者は境界線から 2m 内側の位置からセルフスタートが可能になります。

変更点④：守備選手に適用されるゴールサークルルールの緩和

特定の条件下で、守備選手がゴールサークルに侵入可能になります。

特定の条件下とは、今後安全性とのバランスを考慮し整理されます。

次の点が主要なポイントになります。

- 1) 攻撃選手に 1.5m の距離で付いている状況
- 2) 安全性を損なっていないと判断できる状況

【ルールブック公開スケジュール（予定）について】

- | | |
|-------------------|-------------------------------|
| ・ 2020 年 1 月 22 日 | 2020 年度 JLA 女子競技ルールについて（本書）公開 |
| ・ 2020 年 2 月下旬 | 2020 年度 JLA 女子競技ルールブック（第一版）出版 |
| ・ 2020 年 3 月下旬 | 2020 年度 JLA 女子競技ルールブック（第二版）出版 |
| ・ 2020 年 4 月 1 日 | 新ルール施行 |

なお、WL の公開予定に準じてルール委員会での和訳作業となるため、WL の公開スケジュール変更等の影響を受けることをご了承ください。

以上